

# 入学者選抜に関するアンケート (公立中学校長用)

教育庁教育振興部  
指導課学力向上室

## 1 選抜の理念について

現行の入学者選抜の理念は、「1 特色ある入学者選抜の理念の継承」及び「2 複数回の受検機会の保証」の二つでした。

(※ 特色ある入学者選抜の理念：生徒の多様な能力・適性、意欲、努力の成果、活動経験等の優れた面を多元的に評価する。)

このことについて、お答えください。

ア 1、2の理念ともに、受け継いでいくべきである。

イ 1は必要だが、2は必要ない。

ウ 1は必要ないが、2は必要である。

エ 1、2ともに再考すべきである。

オ その他

エ又はオと回答した場合には、新しい理念等について、お考えがありましたら、お書きください。

[ ]

## 2 現行の入学者選抜について

(1) 当てはまると考えるものすべての符号を、回答票に記入してください。

ア 前期選抜、後期選抜と入学者選抜が連続するが、校内での対応を工夫すれば、教育活動に支障を来すことはない。

イ 前期選抜、後期選抜と入学者選抜が続くことにより、学校の教育活動に支障が出ている。

ウ 前期選抜と後期選抜の違いや趣旨について、周知徹底がなされている。

エ 前期選抜と後期選抜の違いや趣旨について、生徒や保護者に理解が深まっているとは言えない。

オ 中学校の1月以降の教育活動が、授業時間を多く確保できるなど、以前より余裕を持って行えるようになった。

カ 前期選抜で学力検査を実施することにより、学習や学力に対する意識が高まった。

(2) (1)の他に、教育活動等に影響があったとお考えのことがありましたら、お書きください。

[ ]



(3) その他

[ ]

4 後期選抜

(1) 時 期

ア 現行のままでよい イ 改善すべき ( 月 日頃)

(2) 方法等

①日 数

ア 1日 イ 2日間 ウ その他 ( )

②検査内容 (5 教科学力検査及び必要に応じて実施する検査)

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき (具体的にお書きください。)

[ ]

③選抜方法

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき (具体的にお書きください。)

[ ]

④算 式

ア 現行のままでよい イ 何らかの形で残すべき ウ 必要ない

(3) その他

[ ]

5 一本化の場合

(1) 時 期

ア 2月中旬 イ 2月下旬 ウ 3月上旬 エ その他 ( )

(2) 方法等

①日 数

ア 1日 イ 2日間 ウ その他 ( )

②選抜枠・選抜方法

ア 選抜方法は県下統一した（一つの）ものとし、募集定員の100%をその方法で判定する。

イ 選抜方法を各高等学校が複数設定できるようにし、募集定員のうちのしかるべき割合について、それらにより判定する。

ウ その他

[ ]

③学力検査

ア 5教科 イ 3教科（国・数・英）

ウ その他（ ）

④学校ごとの検査

（※ 前期選抜第2日の検査内容：各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。）

ア 現行の前期選抜の第2日のような内容で、全高等学校が実施する。

イ 現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の学校のみ実施する。

ウ その他

[ ]

⑤算式

ア 現行のままでよい イ 必要ない ウ 何らかの形で残すべき

(3) その他（何かありましたらお書きください。）

[ ]

6 その他

(1) 学力検査について（複数の受検機会がある場合、一本化の場合いずれにおいても）

ア 全日制、定時制ともに、学力検査は5教科（国、数、英、理、社）実施すべきである。

イ 全日制は5教科、定時制は3教科（国、数、英）でよい。

ウ その他（具体的にお書きください。）

(2) ① 平成25年度入学者選抜において、前期選抜で受検したものの内定者とならなかった者のうち、後期選抜も前期選抜と同じ学校学科を志願した貴校生徒の人数とその割合をお答えください。

\*割合の計算方法

(前期で内定者とならなかった者で、後期も前期と同じ学校学科を志願した生徒数(志願確定時)) ÷ (前期で内定者とならなかった者で、後期も志願した生徒総数(志願確定時)) × 100

② 平成25年度入学者選抜において、前期選抜で受検したものの内定者とならなかった者のうち、後期選抜への志願をとりやめた貴校生徒の人数とその割合をお答えください。

\*割合の計算方法

(前期で内定者とならなかった者で、後期への志願を予定していたが、志願をとりやめた生徒数) ÷ (前期で内定者とならなかった者で、後期への志願を予定していた生徒総数) × 100

※①・②ともに割合については、小数第2位を四捨五入してください。

(3) 定時制の課程の出願書類受付時間及び選抜結果発表時間について

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき(具体的にお書きください。)

[ ]

(4) その他

[ ]









- 5 その他，平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜について，御意見等がありましたら，記入してください。

( )



(4) 予定人員について

前期選抜の予定人員は、普通科は募集定員の30%以上60%以内、専門学科は募集定員の50%以上80%以内で、各高等学校が定めています。

ア 現在のままでよい    イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(5) 期待する生徒像について

各高等学校は、各校の特色に応じた期待する生徒像を定めています。

ア 現在のままでよい    イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に記入してください。

( )

(6) 算式について

算式は、各高等学校が調査書の評定を入学者選抜の資料とする際に使用する式( $X + \alpha - m$ )です。

( X : 志願者の調査書中の9教科の評定の全学年の合計値  
α : 千葉県が定める評定合計の標準値 (95)  
m : 志願者の在籍する中学校の第3学年に在籍する生徒の調査書中の  
9教科の評定の全学年の合計値の平均値 )

平成15年度より、中学校において「目標に準拠した評価(絶対評価)」が導入されました。その後、評定の付け方や評定合計平均値に、中学校間で大きな開きが見られるようになり、入学者選抜の資料として評定の公平性について検討する必要が生じました。

そこで、調査書をより適切かつ公平に活用するために、平成20年度入学者選抜より算式を導入しました。

このことにより、中学校の評定合計平均値が徐々に適正な値になり、調査書の公平性が保たれております。

算式について、お答えください。

ア 現行のままでよい    イ 改善したほうがよい    ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(7) 志願理由書について

志願理由書は、志願者が「志願の理由」及び「自己アピール」について記入する書類です。

ア 現行のままでよい    イ 改善したほうがよい    ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(8) その他

前期選抜について、御意見等がありましたら御記入ください。

( )

2 後期選抜について、お答えください。

(1) 実施時期について

例年2月末～3月始め(平成25年度は2月28日)に実施しています。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい( 月 日頃)

(2) 検査の日数について

ア 現在のままでよい(1日で実施) イ 2日間で実施するほうがよい

ウ その他

( )

(3) 検査の内容について

後期選抜では、5教科の学力検査(各教科40分)及び各高等学校ごとの検査を実施しています。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(4) 算式について

算式は、各高等学校が調査書の評定を入学者選抜の資料とする際に使用する式( $X + a - m$ )です。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(5) その他

後期選抜について、御意見等がありましたら御記入ください。

( )

3 1回の選抜について

(1) 今後も、2回の選抜を実施すべきだと思いますか。イ・ウを選んだ場合には、その理由も御記入ください。

ア 今後も2回の選抜を実施すべきである

イ 1回の選抜にすべきである(→(2)～(4)にお答えください)

( )

ウ その他(→(2)～(4)にお答えください)

( )

(2) 検査の実施時期について

ア 2月中旬 イ 2月下旬 ウ 3月上旬

エ その他( )

(3) 検査の日数について

ア 1日 イ 2日間 ウ その他( )

(4) 検査の内容について(全日制・定時制ともに)

①学力検査の教科数について

ア 5教科 イ 3教科(国・数・英)

ウ その他( )

②学力検査以外の検査について

ア 現行の前期選抜の第2日のような内容で、全部の高等学校が行う。

イ 現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の高等学校が行う。

ウ その他( )

4 その他、平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜について、御意見等がありましたら、御記入ください。

( )

# 入学者選抜に関するアンケート (公立高等学校長用)

教育庁教育振興部  
指導課学力向上室

## 1 選抜の理念について

現行の入学者選抜の理念は、「1 特色ある入学者選抜の理念の継承」及び「2 複数回の受検機会の保証」の二つでした。

(※ 特色ある入学者選抜の理念：生徒の多様な能力・適性、意欲、努力の成果、活動経験等の優れた面を多元的に評価する。)

このことについて、お答えください。

ア 1、2の理念ともに、受け継いでいくべきである。

イ 1は必要だが、2は必要ない。

ウ 1は必要ないが、2は必要である。

エ 1、2ともに再考すべきである。

オ その他

エ又はオと回答した場合には、新しい理念等について、お考えがありましたら、お書きください。

[ ]

## 2 現行の入学者選抜について

(1) 当てはまると考えるものすべての符号を、回答票に記入してください。

ア 前期選抜、後期選抜と入学者選抜が連続するが、校内での対応を工夫すれば、教育活動に支障を来すことはない。

イ 前期選抜、後期選抜と入学者選抜が続くことにより、学校の教育活動に支障が出ている。

ウ 前期選抜と後期選抜の違いや趣旨について、周知徹底がなされている。

エ 前期選抜と後期選抜の違いや趣旨について、生徒や保護者に理解が深まっているとは言えない。

オ 中学校の1月以降の教育活動が、授業時間を多く確保できるなど、以前より余裕を持って行えるようになった。

カ 前期選抜で学力検査を実施することにより、学習や学力に対する意識が高まった。

(2) (1)の他に、教育活動等に影響があったとお考えのことがありましたら、お書きください。

[ ]



(3) その他

[ ]

4 後期選抜

(1) 時 期

ア 現行のままでよい イ 改善すべき ( 月 日頃)

(2) 方法等

①日 数

ア 1日 イ 2日間 ウ その他 ( )

②検査内容 (5 教科学力検査及び必要に応じて実施する検査)

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき (具体的にお書きください。)

[ ]

③選抜方法

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき (具体的にお書きください。)

[ ]

④算 式

ア 現行のままでよい イ 何らかの形で残すべき ウ 必要ない

(3) その他

[ ]

5 一本化の場合

(1) 時 期

ア 2月中旬 イ 2月下旬 ウ 3月上旬 エ その他 ( )

(2) 方法等

①日 数

ア 1日 イ 2日間 ウ その他 ( )



②選抜枠・選抜方法

ア 選抜方法は県下統一した（一つの）ものとし、募集定員の100%をその方法で判定する。

イ 選抜方法を各高等学校が複数設定できるようにし、募集定員のうちのしかるべき割合について、それらにより判定する。

ウ その他

[ ]

③学力検査

ア 5教科 イ 3教科（国・数・英）

ウ その他（ ）

④学校ごとの検査

ア 現行の前期選抜の第2日のような内容で、全高等学校が実施する。

イ 現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の学校のみ実施する。

ウ その他

[ ]

⑤算式

ア 現行のままでよい イ 必要ない ウ 何らかの形で残すべき

(3) その他（何かありましたらお書きください。）

[ ]

6 その他

(1) 学力検査について（複数の受検機会がある場合、一本化の場合いずれにおいても）

ア 全日制、定時制ともに、学力検査は5教科（国、数、英、理、社）実施すべきである。

イ 全日制は5教科、定時制は3教科（国、数、英）でよい。

ウ その他（具体的にお書きください。）

(2) 平成25年度入学者選抜の後期選抜において、前期選抜に引き続き貴校の同一学科を志願した者の割合をお答えください。

\*計算方法

(前期、後期ともに貴校の同一学科を志願した人数（後期は志願確定時）) ÷

(後期志願確定者数) × 100（小数第2位を四捨五入してください。）

(3) 定時制の課程の出願書類受付時間及び選抜結果発表時間について

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき（具体的にお書きください。）

[ ]

(4) その他

[ ]



(4) 予定人員について

前期選抜の予定人員は、普通科は募集定員の30%以上60%以内、専門学科は募集定員の50%以上80%以内で、各高等学校が定めています。

ア 現在のままでよい    イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(5) 期待する生徒像について

各高等学校は、各校の特色に応じた期待する生徒像を定めています。

ア 現在のままでよい    イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に記入してください。

( )

(6) 算式について

算式は、各高等学校が調査書の評定を入学者選抜の資料とする際に使用する式( $X + \alpha - m$ )です。

( X : 志願者の調査書中の9教科の評定の全学年の合計値  
α : 千葉県が定める評定合計の標準値(95)  
m : 志願者の在籍する中学校の第3学年に在籍する生徒の調査書中の9教科の評定の全学年の合計値の平均値 )

平成15年度より、中学校において「目標に準拠した評価(絶対評価)」が導入されました。その後、評定の付け方や評定合計平均値に、中学校間で大きな開きが見られるようになり、入学者選抜の資料として評定の公平性について検討する必要が生じました。

そこで、調査書をより適切かつ公平に活用するために、平成20年度入学者選抜より算式を導入しました。

このことにより、中学校の評定合計平均値が徐々に適正な値になり、調査書の公平性が保たれております。

算式について、お答えください。

ア 現行のままでよい    イ 改善したほうがよい    ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(7) 志願理由書について

志願理由書は、志願者が「志願の理由」及び「自己アピール」について記入する書類です。

ア 現行のままでよい    イ 改善したほうがよい    ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(8) その他

前期選抜について、御意見等がありましたら御記入ください。

( )

2 後期選抜について、お答えください。

(1) 実施時期について

例年2月末～3月始め(平成25年度は2月28日)に実施しています。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい( 月 日頃)

(2) 検査の日数について

ア 現在のままでよい(1日で実施) イ 2日間で実施するほうがよい

ウ その他

( )

(3) 検査の内容について

後期選抜では、5教科の学力検査(各教科40分)及び各高等学校ごとの検査を実施しています。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい

イと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(4) 算式について

算式は、各高等学校が調査書の評定を入学者選抜の資料とする際に使用する式( $X + a - m$ )です。

ア 現在のままでよい イ 改善したほうがよい ウ 必要ない

イ・ウと回答した場合には、具体的に御記入ください。

( )

(5) その他

後期選抜について、御意見等がありましたら御記入ください。

( )

3 1回の選抜について

(1) 今後も、2回の選抜を実施すべきだと思いますか。イ・ウを選んだ場合には、その理由も御記入ください。

ア 今後も2回の選抜を実施すべきである

イ 1回の選抜にすべきである(→(2)～(4)にお答えください)

( )

ウ その他(→(2)～(4)にお答えください)

( )

(2) 検査の実施時期について

ア 2月中旬 イ 2月下旬 ウ 3月上旬

エ その他( )

(3) 検査の日数について

ア 1日 イ 2日間 ウ その他( )

(4) 検査の内容について(全日制・定時制ともに)

①学力検査の教科数について

ア 5教科 イ 3教科(国・数・英)

ウ その他( )

②学力検査以外の検査について

ア 現行の前期選抜の第2日のような内容で、全部の高等学校が行う。

イ 現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の高等学校が行う。

ウ その他( )

4 その他、平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜について、御意見等がありましたら、御記入ください。

( )

# 入学者選抜に関するアンケート (私立高等学校長用)

教育庁教育振興部  
指導課学力向上室

## 1 選抜の理念について

現行の入学者選抜の理念は、「1 特色ある入学者選抜の理念の継承」及び「2 複数回の受検機会の保証」の二つでした。

(※ 特色ある入学者選抜の理念：生徒の多様な能力・適性、意欲、努力の成果、活動経験等の優れた面を多元的に評価する。)

このことについて、お答えください。

ア 1、2の理念ともに、受け継いでいくべきである。

イ 1は必要だが、2は必要ない。

ウ 1は必要ないが、2は必要である。

エ 1、2ともに再考すべきである。

オ その他

エ又はオと回答した場合には、新しい理念等について、お考えがありましたなら、お書きください。

[ ]

※ これからも複数の受検機会を保証した方がよいというお考えの場合は質問の2、3及び5に、入学者選抜は、前期選抜と後期選抜を一本化した方がよいとお考えの場合は、質問の4及び5にお答えください。

## 2 前期選抜について

### (1) 時期

ア 現行のままでよい    イ 改善すべき (    月    日頃)

### (2) 方法等

#### ①期待する生徒像

ア 現行のままでよい    イ 何らかの形で残すべき    ウ 必要ない

#### ②日数

ア 2日間    イ 1日    ウ その他 (    )

#### ③選抜枠

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき (具体的にお書きください。)

[ ]

- ④検査内容（現行 第1日：5教科学力検査（国、数、英、理、社）、  
第2日：学校ごとの検査（各高等学校において、面接、集団討  
論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問  
題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一  
つ以上の検査を実施する。）

- ア 現行のままでよい  
イ 改善すべき（具体的にお書きください。）

[ ]

⑤選抜方法

- ア 現行のままでよい  
イ 改善すべき（具体的にお書きください。）

[ ]

⑥入学確約書

- ア 現行のままでよい    イ 何らかの形で残すべき    ウ 必要ない  
(3) その他

[ ]

3 後期選抜

(1) 時期

- ア 現行のままでよい    イ 改善すべき（ 月 日頃）

(2) 方法等

①日数

- ア 1日    イ 2日間    ウ その他（ ）

②検査内容（5教科学力検査及び必要に応じて実施する検査）

- ア 現行のままでよい  
イ 改善すべき（具体的にお書きください。）

[ ]



③選抜方法

ア 現行のままでよい

イ 改善すべき（具体的にお書きください。）

[ ]

(3) その他

[ ]

4 一本化の場合

(1) 時 期

ア 2月中旬 イ 2月下旬 ウ 3月上旬 エ その他（ ）

(2) 方法等

①日 数

ア 1日 イ 2日間 ウ その他（ ）

②選抜枠・選抜方法

ア 選抜方法は県下統一した（一つの）ものとし、募集定員の100%をその方法で判定する。

イ 選抜方法を各高等学校が複数設定できるようにし、募集定員のうちのしかるべき割合について、それらにより判定する。

ウ その他

[ ]

③学力検査

ア 5教科 イ 3教科（国・数・英）

ウ その他（ ）

④学校ごとの検査

ア 現行の前期選抜の第2日のような内容で、全高等学校が実施する。

イ 現行の前期選抜の第2日のような内容で、希望の学校のみ実施する。

ウ その他

[ ]

(3) その他 (何かありましたらお書きください。)

[ ]

5 その他

(1) 学力検査について (複数の受検機会がある場合、一本化の場合いずれにおいても)

ア 全日制、定時制ともに、学力検査は5教科 (国、数、英、理、社) 実施すべきである。

イ 全日制は5教科、定時制は3教科 (国、数、英) でよい。

ウ その他 (具体的にお書きください。)

(2) その他

[ ]